



檜小だより

檜原学園檜原小学校



7月号

令和5年度

7月3日(月)

ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

疑問を解決する姿勢

副校長 神田 裕一

過日、第4学年の授業を行いました。4年生は総合的な学習の時間で「SDGs」について学んでいます。そこで、「SDGsって何？」と聞くと色々な回答が出て、最後に「世界が良くなるための目標」という言葉が返ってきました。

「世界」と一言で言っても、環境が違えば、文化も違う。いろいろな国のことを知るのもSDGsを学ぶためには必要だね、ということで、私が住んでいたことのある2カ国について紹介することになりました。

今回は「オマーン」について記したいと思います。私が学生を修了し、初めて働いた場所が、オマーンでした。教員になりたいと思ってはいましたが、当時、教育現場でキーワードになっていた「国際理解教育」という言葉の意味がよく分からず、実際に行こうと思ったのが動機です。それならば、両方とも解決しようと、現地の日本人学校で働くことになりました。「中東」と聞くと多くの人から「危なくないの？」と聞かれますが、3年間で危ないと思ったことは一度もありませんでした。それでも、日本との文化の違いに驚くことはいくつもありませんでした。

第1に、「時間の概念の違い」です。私は日本で自動車免許を取って1年未満だったため、現地でも路上教習を受けることになりました。はじめ、週2回練習すれば、1か月で終わると聞かされていたのに、結局2か月以上かかりました。私の力量にも問題があったかもしれませんが、教官が来ないことも原因でありました。こちらでは教官自身が車に乗って教習生の家まで来て、路上練習をしますが、いつも時間通りには来ませんでした。2、30分の遅刻はあたりまえ、休むときも電話なし、電話をすればいつも「sick」と言い、その次に「インシャアッラー（神の思し召すままに）」と続きます。なんともゆったりと時間が流れているようでした。ということで予定より倍以上の時間がかかったわけです。

第2に『子供と雨』です。10月のある日、夕方に突然雨が降り始めました。ちょうど日本人学校では帰宅時間。だんだんはげしくなってきた、帰るのが大変だな、などと思っていたとき、子供たちが「先生、外で遊ぼう」と言ってきました。珍しく降った雨に、子供たちの目はキラキラ。結局雨の中、10分ぐらい走り回ったところで、これ以上遊んだら風邪を引いてしまうと思い、中へ入れさせましたが、服はびしょびしょでした。周りを見ると現地の子供たちも同じように遊んでいました。こちらでは、普通の出来事なのです。いくら雨の日が少ないといっても、日本ではなかなか見ることのない光景かなと思います。

その他にも、生活している中で、「違い」を感じる場面は多くありました。例えば、

- ・夏は、40℃越えは当たり前で、50℃近くになることもある。(実際は50℃を越えています。)
- ・ガソリン代は日本の1/5程度。
- ・賞味期限1年の豆腐や賞味期限3か月の卵が売っている。
- ・豚肉売り場は別室。

などなど、所在や風習の違いからくる「違和感」がありました。それでも、「なんでだろう？」という疑問をもち、考えたり、調べたりすると答えにたどり着き、更に別の疑問が浮かぶといったサイクルをずっとやってきたように思います。(上記のことにも理由があります。)

大人でもそうだと思いますが、特に、小学校段階では、いろいろなことを知り、疑問をたくさんもつことが大切だと感じます。そして、その疑問を解決していくことで新たな興味・関心がわき、更に知りたくなる。生涯学習の始まりです。本校でも子供たちが、多くのことに興味・関心をもてるよう授業内容の充実を図っています。「共に学び合える場」をつくっていきます。今後とも御支援、御協力の程、よろしくお願いいたします。

7月の生活目標

ものを大事にしよう



みなさんは、ものを大事にできていますか？実は、檜原小学校では落としものがあった時、誰のものか分からないことがほとんどありません。それは、持ち物に名前が書いてあること、友達がどんなものを持っていて知っていることで、持ち主のもとに落とし物が返っていくからです。檜原小の子達は、ものを大事にする基本は出来ていると思います。

また、学校にあるもの等、公共のものも丁寧に扱うことも大切です。机をちゃんと持ち上げて運ぶ、給食の食器を丁寧に扱う等、身近なところから物を大切に、自分の物も他人の物も大事にできるようにしましょう。物を大切にできるような素敵な心を育てていきましょう。

生活指導部

檜小まつり

6月24日（土）に行われた檜小祭りには、多くの保護者の皆様のご参観をいただき、ありがとうございました。今年度も6年生を中心に縦割り班の1年生から6年生全員でお店を作り上げました。縦割り班活動を通して、異年齢集団の絆を深めるとともに、上級生の行動を見て憧れをもったり、下級生のお世話を通して思いやりの気持ちを育んだりすることができました。一生懸命準備をしてきた檜小祭り、大人も子供も笑顔あふれる素晴らしい行事となりました。



特別活動部

特別支援

今回は、週に一度程度来校しているスクールカウンセラーの赤木友彦先生をご紹介します。スクールカウンセリングでは、子供たちはもちろん、保護者の方の相談も受け付けています。「悩みというほどではないけど、ちょっと心配なことがある」「〇〇の時の対応方法を知りたい」など、お気軽にご利用ください。ご相談を希望される際は、事前に担任、特別支援コーディネーター等へご連絡ください。

子供たちや、保護者の方にとって心強い味方の赤木先生ですが、私たち教職員も、日頃の指導・支援について相談にのってもらったり、アドバイスをもらったりしています。また、先日は教員向けに研修会を行いました。カウンセリングの知識や、教員がもっているとよいカウンセリング・マインドについて教えてもらったり、事例をもとにしたワークを行い、その要因や支援方法等を学んだりしました。

檜原小学校には、様々な専門の先生がいます。みんなで一つのチームとなり、みんなで全児童を見ていきます！

特別支援コーディネーター

セーフティ教室

6月28日（水）は小中合同のセーフティ教室がありました。1・2年生はICT担当の藤澤先生によるタブレットPCの使い方を、3～9年生は安全なインターネットの使い方についてKDDI（株）春園幸宏さんにお話を伺いました。1使いすぎ、2ネットいじめ、3怪しい情報、4誘い出し・なりすまし、5個人情報、6ネット詐欺、7著作権・肖像権についてインターネットを使用する上で気を付けることについて学びました。家庭でのルールを作り、見える所に貼ること。成長に合わせてルールを変えていく必要があること。その重要性と方法についてもお話しいただきました。是非、学年に合わせたインターネット使用のルールについてご家庭でもお話下さい。



生活指導部

体力等調査

6月13日（火）に体力等調査を行いました。今年は雨天のため、室内種目の実施となりました。子供たちは、立ち幅跳びや反復横跳び、20mシャトルランなどに、一生懸命取り組みました。

今年は、体育委員会の子供たちが体力テストに向けた掲示物を作成してくれました。また、体力テストまでの期間、ソフトボール投げの練習日を設け、休み時間に多くの子が練習に参加しました。体力等調査結果が届きましたら、ご家庭における体力向上への取組に生かせるよう、元気アップカードに貼りますのでご確認ください。

体育部

運動会

5月27日（土）に晴天に恵まれ、けが等なく無事に学園運動会を行うことができました。子供たちは各競技に一生懸命取り組み、とても良い表情をしていました。体を動かすことの心地よさ、友達と一緒に協力したり、勝負をしたりすることの楽しさを感じている様子でした。スローガンにもありました、「完全燃焼～村民魂を見せつけろ！」を意識し、一人一人が活躍できたのではないのでしょうか。

保護者の皆様にも暑い中、朝早くからご覧いただきありがとうございました。PTAの皆様のご協力もあり、準備や進行、片付けまで円滑に行うことができました。本当にありがとうございました。

運動会担当